

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

P T A名	静岡県立伊豆の国特別支援学校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	192人

1. 使用状況

寄贈物品名	2連ブランコ&境界柵
使用学年及び人数	小学部児童 88人
使用頻度	毎日
使用状況	<p>月～金の朝の自由遊びの時間に2、3年生が日替わりで使用している。主に、火、水、木の昼休みに小学部の学年間で調整をしながら使用している。</p> <p>火曜日の午後のクラブ活動では、4、5、6年生が使用している。</p> <p>さらに、生活単元学習や自立活動、特別活動の授業でも使用している。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>2連ブランコは、令和3年度に寄贈していただいた複合遊具と隣接しており、児童はブランコと遊具を交互に行き来し、楽しんでいる。</p> <p>2年目になって、体の使い方が上手ではない児童が、大きな遊具に上り手や足を動かし、全身を使う粗大な動きが身についてきた。</p> <p>また、太陽の下で、思い切り体を動かすことで、情緒の安定を図ることにつながり、学習の意欲にもつながっている。</p> <p>教員が予想した以上に、児童の良いあらわれが見られ、教員にとっても遊び方や支援の仕方を考える良い機会になった。</p> <p>ブランコと大型遊具の往復は、児童の遊びの経験の広がりと共に、児童が安心して遊べる場所となった。児童が遊びを選択・工夫する様子も見られるようになった。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>固定遊具だからこそ、そこに行けばブランコや遊具があるという安心感と、外で遊びたいという気持ちや意欲を育てることができることを改めて教員間で共通理解した。</p> <p>自由遊びと、教員のアレンジを入れた遊び方を工夫し、さらに児童の活発な動きや意欲を引き出していきたい。</p>
その他希望や所感など	<p>児童がブランコと複合遊具の間を楽しそうに行き来している姿を見ると、本当に良い遊具をいただいたと実感しています。</p>

2. 活用の様子

